

海外トピックス

静岡県海外駐在員報告

2026.

10

静岡県企画部地域外交課



香港最大級の観光展「香港ホリデー&トラベルエキスポ」の静岡県ブース（写真左上下、右上）
会場での日本セミナー「10回以上、日本を訪問した方は？」との質問に多くの手が上がる（写真右下）

東南アジア

少子化対策を刷新 ～給付は増えるが子どもは増えるのか(シンガポール)～
シンガポールで県産品をトライアル販売 ～現地で見た『売り方』のヒント～

中国

香港最大級の観光展に出展 ～旺盛な訪日需要を支える現地の物価上昇～

韓国

医療観光訪問客が好調 ～美容外科は日本人が最多～
連休中の釜山に珍客 サメ騒動

台湾

SEMICON Taiwan 2026 が開催
『健康弊』政策が10月1日からスタート

東南アジア駐在員報告

駐在員:村川 未帆

経 済

少子化対策を刷新 ～給付は増えるが、子どもは増えるのか(シンガポール)～

シンガポールでは少子化に歯止めがかかっていない。2025年の合計特殊出生率は、日本の1.14を下回る0.87と過去最低となった。こうした中、ウォン首相は建国記念日後の演説で、新たな子育て支援策を発表した。

2001年から続く出産・子育て支援制度「ベビーボーナス」は、2027年4月から新制度に切り替わる。出産祝い金1人1万ドル(約125万円)に加え、1歳から16歳まで毎年2,000ドル(約25万円)を現金で支給し、計4万2,000ドル(約525万円)となる。このほか、保育料や医療費などに使える子ども名義の専用口座への政府拠出や、親の預け入れに応じた上乘せ支援、17歳時には国内の認定教育機関の学費などに使える1万ドル(約125万円)の支援もある。既存の医療支援などを含め、条件を満たせば、17歳までの子ども一人当たりの政府支援は最大約7万ドル(約870万円)となる。

一見すると手厚いが、子育てにかかる費用も高い。政府支援の保育所でも、乳児は月746ドル(約9万3,000円)かかり、シンガポール政策研究所の調査では、塾や習い事にかかる費用は子ども1人当たり月1,000ドル(約12万5,000円)を超える。住宅費も高く、新築公営住宅は入居まで数年待つこともある。2025年の国民の婚姻件数は前年比5.6%も減少しており、少子化は子育て以前の段階から課題を抱えている。

給付を増やしても、結婚、住まい、教育費の負担が重い中で、出生率は上向くのか。新制度の実効性が注目される。

経 済

シンガポールで県産品をトライアル販売 ～現地で見えた『売り方』のヒント～

県は、県産品の輸出の裾野を広げるため、シンガポールで県内事業者の商品を試験販売した。9月18日から20日まで、随一の繁華街オーチャードにあるABC Cooking Studioで開かれた「Taste Japan Fair」に出品し、当事務所も現地で販売を支援した。

会場には、バウムクーヘン、お茶カクテル、ほうじ茶、抹茶、わさびやラー油などの加工品、トマトジュースなどが並んだ。来場者は料理教室の会員など、食への関心が高い人が中心だった。

販売して感じたのは、商品の背景や特徴、楽しみ方まで伝えることで客の反応が変わることだ。日本有数の産地であることや手作りなど製造上の特徴を説明し、抹茶と菓子のペアリング、わさびオイルと蒸し野菜などの食べ方を提案すると、購入につながりやすかった。抹茶の実演や、ほうじ茶の特徴・淹れ方の説明にも関心が集まった。初めて出会う商品だからこそ、実際に味わい、食べ方まで知ってもらうことが大切だと感じた。

競合商品と比べた価格に納得感があるか、パッケージは現地市場に合っているかは、実際に売ってみなければ分からない。県としても、こうした現地での反応を事業者が確認し、価格や見せ方、伝え方の改善につなげられるよう支援していくことが重要だと感じた。



中国駐在員報告

駐在員:石川 祐介

経 済

香港最大級の観光展に出展 ～旺盛な訪日需要を支える現地の物価上昇～

9月25～27日、県中国事務所は、香港最大級の観光展示会「香港ホリデー & トラベルエキスポ」に出展し、本県の観光プロモーションを行った。

同展示会は2024年に始まった新しいイベントながら、今回は3日間の開催期間に25万人が来場。現地では、特別価格で旅行商品を購入できるなど「誰よりも先にお得な情報を手にしたい」と考える香港ローカルの心をつかみ、今や香港のみならず、高速鉄道で約30分の深圳市（広東省）からも来場者が訪れる人気イベントだ。

本県は、「Shizuoka Prefecture and Selected Hotels（静岡県&厳選ホテル）」をテーマに、県内約20の宿泊・観光施設からパンフレットの提供を受けてセールスを実施。また、本イベントにあわせて東急ホテルグループ・EGLツアーズ（香港大手旅行社）と共同でFIT（個人旅行）向け新商品を発売し、3日間で約70万円を売り上げた。

香港の旅行者は、リピーターが多いのが特徴だ。本県ブースを訪れる方の多くが東京・大阪・京都・北海道等への訪問経験があり、更なる日本深度旅游（日本をより深く旅する）を目的として、静岡県の地図や各ホテルのパンフレットを熱心に読み込むなど、まだ見ぬ旅先を探して日本関係ブースを巡っていた。



現地で販売された旅行商品

<現地の物価上昇と日系企業の対応>

香港の訪日需要は驚くほど高い。その需要を底支えするのが「円安」と「物価上昇」だ。日本に住みながらも為替レートは感覚的に理解できるが、物価上昇はイメージを掴みにくいことから、その実例を紹介したい。（1香港ドル=20円で計算）

現地のセブンイレブンでは、ミネラルウォーター500mlが260円、コカ・コーラ500mlが300円で販売されている。外食は更に人件費・サービス料が加算されるため、日本式の豚骨ラーメンが2,000円、インド料理は鶏肉カレー3,000円に白米900円を追加して、やっと食事にありつける。

現地の人々はどうやって暮らしているのかと求人を見れば納得。中級レストランの求人看板では、待慶生（ウェイター）・洗碗清潔員（皿洗い）は月給32～40万円、厨房工（調理人）は36～48万円でスタッフを募集している。

イベント期間中、コスパが良いと20～30代の若者で賑わう火鍋店に4名で訪れ、ビールを2～3本飲んで会計すると35,000円だった。イベント来場者に物価について話を聞くと、「香港の高級日本料理店に行く代わりに日本の高級店で食事をすれば、差額で航空券（香港－日本）が買える」と笑っていた。

物価上昇は、観光インバウンドには追い風だが、現地法人を構える日系企業にとっては、固定コストの重しとなり経営上の大きな課題である。収支悪化を懸念して駐在員手当額を据え置く企業、社員の健康・安全が最優先と物価連動制を採用する企業など、その社風や業績が各社の対応に顕著に現れており、現地では、駐在員同士の挨拶代わりの話題となっている。



香港レストランの求人看板

韓国駐在員報告

駐在員:小川 雄太

経 済

医療観光訪問客が好調 ～美容外科は日本人が最多～

韓国は、いわゆる医療観光として、外国人患者の誘致にも積極的である。韓国国内で国や自治体が主催する「外国人患者誘致フェア」に加えて、日本国内でも東京をはじめ各都市で関連フェアが開催されている。

政府系機関である韓国保健産業振興院の発表によると、2025年に韓国の医療機関を利用した外国人患者数は201万1822人で、前年比71.9%増加した。これは中国の団体観光客に対するビザ免除措置などが重なった影響が大きい。

受診内容の内訳は、皮膚科が131万2700人、美容外科が23万3100人となり、美容医療の受診者が大半を占めている。このうち、美容外科患者の42%が日本人で、外国人旅行者の中で最多である。

外国人患者全体の国・地域別の内訳では中国が61万8973人で最多となるものの、日本が60万9人と僅差で2位につけている。2025年における国別の訪韓外国人数は中国が約548万人、日本が約365万人であったことを鑑みると、日本における医療観光人気がうかがえる。

韓国保健産業振興院によると、日本や中国などの患者は皮膚科、美容外科の診療を受ける割合が高いが、カザフスタンやモンゴルなどの患者はがんなどの重症疾患の治療を目的に来韓するケースも多いとのこと。外国人の重症患者は年間6万～7万人に上り、こちらも需要が増え続けているとのことである。

韓国政府は、医療目的の外国人客が年間200万人を超えたことを受け、今後は訪問客数を伸ばすのみではなく、個別のサービスの質の向上を強化する方針を示している。

社会・時事

連休中の釜山に珍客 サメ騒動

釜山駅から徒歩10分程度の距離にある北港親水（プカンチンス）公園に体長3.5メートルのサメが出没し話題となっている。サメは9月18日午前公園の遊歩道横の水路に初めて姿を見せて以降、同水路に留まり続けている。

釜山市や警察が対応にあたっており、安全確保のためむやみに近づかないよう呼びかけているものの、ソーシャルメディアを通じて写真や映像が広まり、サメを目当てに数百人を超える見物客が公園に押し寄せ、現地は大混雑しているという。

韓国では、24日から27日まで、秋夕（チュソク）という日本のお盆休みに相当する連休となっており、このことも公園の観光地化に拍車をかけたといえそうだ。

ちなみに、韓国では「ベイビー・シャーク」というサメの子供を模したキャラクターが踊っている動画が、子供を中心に人気である。ソウルの地下鉄内のデジタルサイネージでは、マナー啓発動画を何種類か流しているが、その中にベイビー・シャークが出演するバージョンがあるため、地下鉄を利用して通勤をしていると毎日このキャラクターを目にすることになる。動画はYouTubeでも視聴することができ、一度聞くと耳から離れないリズムカルな音楽なので、ぜひ聞いてみてほしい。

台湾駐在員報告

駐在員:市川 美奈子

経 済

SEMICON Taiwan 2026 が開催

2026 年 9 月 2 日～4 日、台北市内の南港展覧館で「SEMICON Taiwan 2026」が開催された。

SEMICON Taiwan は、毎年 9 月に台北市で開催されるアジア最大級の半導体製造装置・材料に関する国際展示会。国際半導体産業協会（SEMI）が主催し、世界中から多くの半導体関連企業や専門家が参加している。期間中には各国の半導体関連産業によるさまざまなセミナーが開催された。

同展示会への出展分野は、半導体製造装置、材料、部品、パッケージング、AI 半導体、スマートモビリティなど多岐にわたっている。世界からの台湾の半導体産業への注目度を象徴するかのように、今回の展示会には過去最多となる 1,300 社・4,300 ブースが出展。日本パビリオンには TSMC の工場がある熊本県などの自治体・企業が出展して存在感を示していた。

今回の展示で特に注目を集めていたのは、複数の半導体をつなぎ合わせて性能を高める「先端パッケージ」技術や、最先端の AI チップなど。広大な会場を隅から隅まで使った同展示会は、視察や商談に訪れた業界関係者で大いに賑わっていた。

同様の展示会として、12 月 9 日～12 月 11 日には東京ビッグサイトで「SEMICON Japan 2026」が開催される。テーマは「半導体 これまでの 50 年 これからの 50 年」で、かつて世界の半導体産業を牽引していた日本の技術力を活かした展示が期待される。開催に先立ちオンラインでのイベントも開催されているようなので、気になる方はウェブサイトをチェックされてはいかがでしょうか。

SEMICON Japan 2026 <https://www.semiconjapan.org/jp>

社会・時事

「健康幣」政策が 10 月 1 日からスタート

台湾の衛生福利部（日本の厚生労働省に相当）が 2026 年 10 月 1 日から、「健康幣」政策を導入する。健康的な行動に対してポイントを付与する、非貨幣型のインセンティブ制度だ。

対象者は満 18 歳以上で、台湾の健康保険証を所持している人。住民に健康診断やワクチン接種などを促し、医療費の削減を図る目的だ。1 幣＝1 台湾ドルに相当し、一定数貯めると特典と交換できる。

デジタル先進地域である台湾らしく、「健康幣」のポイント数は専用のアプリで管理する。初回の登録で 200 ポイントが獲得でき、生活習慣評価の回答によってはさらに 100 ポイントを獲得できる。インフルエンザワクチン接種で 450 ポイント、健康診断で 800 ポイント、各種がん検診で 900～1,350 ポイントなど、その行動のハードルの高さによってポイント数が細かく決められている。

ポイントの蓄積は 10 月 1 日から可能で、蓄積されたポイントを特典に交換できるのは 12 月 1 日から。特典として、コンビニの健康食品、薬局の保健用品、医療機関の自費健診、フィットネスジム、保険料の割引などが用意されている。

なお、「コンビニの健康食品」には緑茶も含まれている。「健康幣」政策を機に、「緑茶＝健康」のイメージが台湾でより一層広がるのは、静岡県民としては嬉しい限りだ。

静岡県 海外駐在員事務所

●東南アジア駐在員事務所(シンガポール)

住所	12 Eu Tong Sen Street, #04-168 The Central(S0H02), Singapore 059819		
電話	+65-6221-0432	FAX	+65-6221-0477
URL	http://www.shizuoka.sg/		
E-mail	fujinokuni@shizuoka.sg		

●中国駐在員事務所(上海)

住所	上海市長寧区延安西路 2201 号 国際貿易中心 2611 室		
電話	+86-21-6275-0909	FAX	+86-21-6275-8856
URL	http://www.shizuokash.com		
E-mail	ilfjs@shizuokash.com		

●韓国駐在員事務所(ソウル)

住所	3rd Floor, 50, Eulji-ro, Jung-gu, Seoul, Korea 04534(クレアソウル内)		
電話	+82-2-733-5681	FAX	+82-2-732-8873
URL	http://shizuokaseoul.com/ https://blog.naver.com/goshizuoka		
E-mail	shizuoka@clair.or.kr		

※2026 年 4 月に自治体国際化協会（クレア）ソウル事務所に移転し、引き続きこれまで同様の業務に従事しています。

●台湾駐在員事務所(台北)

住所	台北市中山区南京東路二段 137 号 連邦商業ビル 13 階		
電話	+886-2-2508-1515	FAX	+886-2-2503-5303
URL	http://www.shizuoka.org.tw/		
E-mail	shizuoka.tw@gmail.com		

<日本での連絡先>

静岡県 企画部 地域外交課

住所：静岡市葵区追手町 9-6

電話：054-221-2505 F A X：054-221-2542

E-mail：kokusai@pref.shizuoka.lg.jp